

令和6年の火災・救急・救助概況



火災

問い合わせ 予防課 ☎254-0356 FAX256-7755

令和6年中に市内で発生した火災は122件で、前年に比べ19件減少しました。火災の種別で見ると、建物火災が52件で、前年から7件増加しました。

「たばこ」や「こんろ」などによる火災が目立ちました。

また、火災による死者は1人で、建物火災によるものでした。

住宅火災では、住宅用火災警報器が鳴動し、火災に気付いて早期に消火を行うことで大事に至らなかった事例があります。大切な命と財産を守るため、住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検するなど維持管理しましょう。

区 分		令和6年*	令和5年	増 減
火災件数合計(件)		122	141	▲19
火災種別	建物火災(件)	52	45	7
	うち住宅火災(件)	34	23	11
	林野火災(件)	3	9	▲6
	車両火災(件)	17	16	1
	その他の火災(件)	50	71	▲21
死者(人)		1	2	▲1
うち住宅火災(人)		1	1	0
負傷者(人)		10	14	▲4

※速報値



救急

問い合わせ 消防救急課 ☎254-1600 FAX254-1607

令和6年中の市内における救急出動件数は1万8,097件で、前年に比べ13件減少しました。主な事故種別で見ると、例年同様、急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順でした。救急出動件数は高い水準で推移しており、今後も高齢化の進展などを背景に救急需要の増大が懸念されます。

救急車は限りある資源です。救急車を本当に必要としている人の元へ少しでも早く救急車が到着できるように、救急車の適正な利用についてご理解とご協力をお願いします。

区 分		令和6年*	令和5年	増 減
出動件数(件)		18,097	18,110	▲13
搬送件数(件)		15,963	15,656	307
搬送人員(人)		16,035	15,740	295
主な事故種別	急病(件)	11,968	11,923	45
	一般負傷(件)	3,120	2,975	145
	交通事故(件)	994	1,037	▲43

※速報値



救助

問い合わせ 消防救急課 ☎254-1601 FAX254-1607

令和6年中の市内における救助出動件数は186件で、前年に比べ23件減少しました。

救助出動のうち、交通事故と建物等による事故が67件と最も多く、合計で全体の約72%を占めています。

建物等による事故は全国的にも増加傾向にあり、原因の多くは「高齢者が建物内で動けない、建物の外からの呼び掛けに応答がない」というものです。みんなが安心して暮らせるよう、日頃から地域の連絡、協力体制を築きましょう。

区 分		令和6年*	令和5年	増 減
出動件数(件)		186	209	▲23
活動件数(件)		131	141	▲10
救助人員(人)		119	140	▲21
主な事故種別	交通事故(件)	67	83	▲16
	建物等による事故(件)	67	71	▲4
	水難事故(件)	9	8	1
	火災(件)	1	3	▲2

※速報値

リチウムイオン電池が出火原因の火災が増加しています

落下による衝撃で電池内部が破損したり、使用する機器などに非対応・非純正品の電池を使用することでバッテリーが異常に熱くなったり、膨張してしまったりしている場合は、直ちに使用を中止してください。

問い合わせ 予防課 ☎254-0354 FAX256-7755



市ホームページ